

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	46	—	事業名	古戦場桜まつり事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する	款	9	教育費
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	6	文化財費
		政策分類	1	住民の力を生かした新しい役割分担の仕組みをつくる	大事業	5	古戦場桜まつり事業
	その他(関係法令、要綱等)		長久手古戦場桜まつり実行委員会補助金交付要綱				
事業開始の背景、経緯等		平成25年度の長久手古戦場桜まつりから市民による長久手古戦場桜まつり実行委員会の主催として、実施している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国指定史跡である長久手古戦場を含む古戦場公園で、市民及び長久手市の協働事業として長久手古戦場桜まつりを開催し、史跡のPR及び市民同士の交流を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手古戦場桜まつりの来場者。史跡のPR及び市民同士の交流。					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国指定史跡「長久手古戦場」を多くの人に興味・関心を持ってもらう。市民同士が交流する場にする。					
	事業を構成する事務事業	① 古戦場桜まつり事業	改善・見直し	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,565	2,565	2,609
決算					2,512	2,478	2,273	
人件費(B)	千円	決算		2,903	4,277	2,175		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		5,415	6,755	4,448		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 来場者数	人	目標		8,500	8,500	8,500	8,500
実績				8,000	5,000	8,000	8,000	
B		目標						
		実績						
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A より多くの市民等に史跡PRや交流促進を図るため、8,500人の来場者を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 日進市の岩崎城春まつり(主催:日進市商工会)では、行政に頼らない運営を行い、行政で最低限のサポートをする体制を整えている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 長久手古戦場桜まつり実行委員会が主体となり、企画・運営を実施したが、目標値には至らなかった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 長久手古戦場桜まつりの魅力ある企画・運営に取り組んでいく必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 長久手古戦場桜まつり実行委員会が主体となって国指定史跡のPRと魅力あるまつりを開催していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 長久手古戦場桜まつり実行委員会主体で企画・運営を全て実施していく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		古戦場桜まつり事業									
番号	①	事務事業名	古戦場桜まつり事業	款	9	項	4	目	6	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和63年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手古戦場桜まつりを実行委員会形式により市民主体で開催している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民主体となり、長久手市が誇る国指定史跡「長久手古戦場」のPRのため、多くの人に訪れてもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,565	2,565	2,609	2,609
		決算		2,512	2,478	2,273	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 古戦場桜まつり補助金						2,223	千円
② 損害保険料						44	千円
③ クリーニング手数料						7	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
実行委員会開催回数	回	目標	5	5	5	5	6
		実績	4	5	5	5	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）> 古戦場桜まつり補助金の交付により、市民主体による実行委員会形式で5回の委員会を開催した。実行委員会では、まつりの企画や運営について検討を行った。当日は約8,000名の来場者であった。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

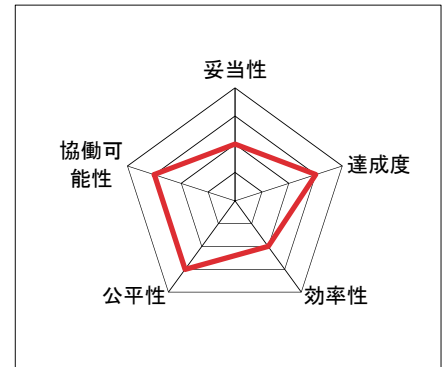
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町でも実行委員会等が主体となって、まつりを開催することが多い。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> 古戦場桜まつり実行委員会において、来場者数を増加できるよう、史跡地として魅力ある長久手古戦場桜まつりの開催を検討し、実行委員で役割を分担することで、市民が自分事として、より主体性を高めてまつりを運営する。
(何をどのような状態に改善したのか) 長久手古戦場桜まつり実行委員が役割を分担することで、主体性を持ったまつりの運営を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 長久手古戦場桜まつり実行委員が役割を分担することで主体性を持った運営ができた。
--

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 長久手古戦場桜まつり実行委員会主体で企画・運営を全て実施していく。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 長久手古戦場桜まつり実行委員会が、さらに主体性を高めて、まつりの運営に取り組む。
--